

額田兄弟の生涯と 東邦大学の歩み

	額田豊	額田晋	東邦大学 沿革
1878 (明治11)	岡山県に生まれる		
1886		岡山県に生まれる	
1892	上京し、翌年 獨逸学協会学校に入学		
1900		獨逸学協会学校に入学	
1901	第一高等学校を卒業し、東京帝国大学医科大学に入学		
1904	牧朴真(当時・農商務省水産局長)の娘・倭文女と結婚		
1905	医科大学卒業後、付属病院内科学教室(青山胤通教授)に入局		
1907	ドイツ留学に出発		
1908		第一高等学校卒業後、東京帝国大学医科大学に入学	
1909	帰国し、翌年 東京・神田(千代田区)に医院を開業		
1912		医科大学卒業後、青山内科に入局	
1913 (大正2)	医学博士の学位を取得し、東京・麻布今井町(港区六本木)に額田病院を創設	君島一郎らと政治結社「一匡社」を創設 賀古鶴所の姪・かつらと結婚	
1915	『安價生活法』を刊行		
1918		アメリカ留学に出発	
1919		帰国し医学博士の学位を取得後、順天堂医院に招かれる	
1920	鎌倉に額田保養院を創設		
1922	消費経済講習会(文部省)講師	森鷗外の臨終を看取る 順天堂研究所の所長に就任	
1923	東京・麻布三河台町(港区六本木)に病院を新築、移転	順天堂研究所が廃止となり、北京協和医学院の招きで 中国に赴く(約6ヵ月)	
1925	帝国女子医専・理事長に就任、同時期に日本大学専門部医学科設立にも関わり、初代医学科長に就任(医学科顧問を経て1933年、解任)	帝国女子医専・校長兼付属病院長に就任	帝国女子医学専門学校を創立 付属看護婦養成所を開設(1926) 薬学科を開設(1927) 理学専門学校を開設(1941)
1926		理学博士の学位を取得	
1927 (昭和2)		東京・神田小川町に額田内科病院を開設	
1936		渡欧し、研究施設見学等を行う(約6ヵ月)	
1938	鎌倉学荘を創設 北鎌倉高等女学院(現・北鎌倉女子学園中学校・高等学校)を併設(1940)		
1939		千葉・稲毛町に額田医学生物学研究所を開設	
1945	獨逸学協会学校の理事長に就任 (~1952)		空襲により本館以外の全施設が焼失 医学科、信州と会津で疎開教育を実施
1946			理専と薬学科が習志野へ移転
1950			医・薬・理が揃った自然科学系総合大学として東邦大学が誕生
1952			東邦大学付属東邦高等学校を開校 中学校を併設(1961)
1957	東邦大学理事長・学長を辞任し、顧問に就任	理事長・学長に就任	駒場東邦中学校・高等学校を開校
1959		藍綬褒章受章	
1961		額田医学生物学研究所に世界観研究会を創立	
1964		9月29日死去、享年77歳	大橋病院を開設
1966	勲三等旭日中綬章受章		
1972	7月29日死去、享年94歳 8月、従四位に叙せられる		